

年度:2020年 LOM番号:466

【褒賞申請書】

事業名称	天童タイムスリップキャンプ
カテゴリー	最優秀LOM地域社会向上プログラム

申請LOM	東北地区山形ブロック天童青年会議所
LOMの人数	46名
理事長名	矢口 太
担当者名	片桐 一樹
担当者携帯番号	080-2838-3351 担当者Mail:kzkata860213@gmail.com
事務局住所	山形県天童市東本町1-3-21
事務局TEL	023-653-6413 事務局FAX:023-654-4180

本事業の参加者	会員数	33名
	関係者数	5名
	一般参加者数	20名
事業実施に至る背景 400文字程度	<p>10数年ぶりに改訂された学習指導要領が2020年から始まります。新学習指導要領で示しているように、今後はアクティブ・ラーニングに代表されるような主体的で対話的な学びをできる力が求められます。新しい時代に必要となる資質・能力として、自ら学びに向かう姿勢、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成が挙げられています。今後の新しい時代を創造できる人財が求められる中で、子ども同士の能動的な学びの機会がより必要とされ、学ぶ中で子どもたちの中に自信が芽生えることが重要だと考え、事業の実施に至りました。</p>	
事業目的 400文字程度	<p>対外目的は、参加した子どもたちが共に自分に自信をつけることを目的とします。自ら考えて動く力を養うには、自分の行動に自信を持つことが重要です。与えられた課題を目の前にした時、まず自分の頭で考え、時には仲間から教えられ、対話を繰り返して課題を乗り越えます。課題をやり切った時に、他者への感謝と自分への自信が芽生えます。子どもたちには、経験したことのない環境を提供し、先が見えない中でも自分で悩みながら周囲の子どもたちと協力して、事業をやり切って自分でできたという自信につなげてもらいたいと思います。</p>	

	対内目的としては、天童青年会議所メンバーが事業の中で子どもたちを育成する意識を高め、参加者が自信をつけられるような支援と事業構築を行い、実際に体を動かして子どもたちをサポートすることを目的とします。
SDG'sの該当項目	(SDG'sの該当項目を記載) 4. 質の高い教育をみんなに

事業概要 400文字程度	<p>天童タイムスリップキャンプ～1500年前の暮らしを体験する2日間～のタイトルのもと、天童市の歴史的史跡である西沼田遺跡を舞台に、天童市内の小学4年から6年生の合計20名が参加し、1泊2日古代の生活体験を通して、自分に自信をもち、仲間と協力しながら体験し成長する例会を開催しました。</p> <p>参加者は、初めは慣れない生活様式と子供同士のコミュニケーションに苦労しながらも、古代の衣服づくり、火おこし、飯盒、魚のつかみ取りなどのワークを協力して行うことを通して、自分の力でできた自信や仲間との絆を深めることができました。</p> <p>本事業は、天童市教育委員会様の後援のもと、会場の指定管理者であるNPO法人西沼田サポーターズ・ネットワーク様ご協力のもと、開園して初めて遺跡内に宿泊することが許可された貴重な事業となりました。事業当日の前に、参加者とその保護者向けに事前説明会を実施しました。事業の趣旨と安全面の徹底を説明し、事前に事業の理解を深めていただくことができました。</p>
開催期間・ タイムスケジュール	<p>2019年9月14日(土)から9月15日(日) (1泊2日)</p> <p>■9月14日(土)</p> <p>①お互いの顔を覚えよう(アイスブレイクで自己紹介)</p> <p>②古墳時代の「生活」を学ぼう(施設内見学)</p> <p>③古墳時代の「衣」を再現しよう(貫頭衣の製作)</p> <p>④古墳時代の「食」を再現しよう(飯盒)</p> <p>⑤古墳時代の「住」を再現しよう(小屋の製作)</p> <p>⑥古墳時代の「食」を再現しよう</p> <p>⑥-1 魚をつかまえよう</p> <p>⑥-2 動物の狩りを再現しよう</p> <p>⑥-3 自分たちで夕飯をつくろう</p> <p>⑦古墳時代の「住」を体験しよう(古代の住居に宿泊)</p> <p>■9月15日(日)</p>

様式1

	①起床・朝の体操 ②現代に帰ってお風呂に入ろう ③現代の朝食を食べよう ④振り返りの時間	
開催場所	天童市西沼田遺跡公園	
事業区分	新規	
公益・共益区分	公益事業	
事業総予算・収支	予算額: 295,887円	
	決算額: 266,075円	
	(収入の部)	
	事業繰入金	266,075円
	合計	266,075円
	(支出の部)	
	資料作成費	25,060円
	消耗品費	14,557円
	会場設営費	300円
	レンタル料	44,260円
	運送費	5,400円
	保険料	5,244円
	企画演出費	81,407円
	PR費	57,240円
食事代	28,827円	
雑費	3,780円	
合計	266,075円	
協力団体	後援	天童市教育委員会
	協力	NPO法人西沼田サポーターズ・ネットワーク
事業対象者	小学4年生から6年生の男女 20名	
行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度	<p>まず、子どもたちが自信をつけられる、未来を生き抜ける力を身につけられる場を調査し、天童市の史跡である西沼田遺跡公園を会場として選定しましたが、これまで園内での宿泊は例がありませんでした。多くの小学生に古代の生活を体験してほしいという想いから、天童市教育委員会様へ事業の後援のお願いと、指定管理者であるNPO法人西沼田サポーターズ・ネットワーク様へ園内宿泊のお願いをしました。安全面、セキュリティ面に最大限配慮した上での実施を承諾いただき、市内全ての小学校、学童保育所、教育関連施設を訪問し、事業PRを行いました。</p> <p>市報、チラシ、SNSで参加者を募集し、参加者が確定した後に、保護者が</p>	

様式 1

様式 1

	<p>安心して子供たちを送り出してもらえよう事業当日前に、参加者向けの事前説明会を開催しました。</p> <p>事業当日は、保護者は送迎以外同伴せず、子どもたちのみで参加していただき、天童青年会議所メンバーがサポートメンバーとして同伴しました。本事業は、子どもたちの自主性を最優先し、サポートメンバーは能動的に参加者をサポートすることなく、子どもたちが自分たちの力のできるように支援を行いました。</p>
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>■事業目的に達した点</p> <p><対内></p> <p>2日間を通して、メンバーの75%(25名)が子どもたちを育成する意識を高め、プログラムの中で子どもたちに答えを教えるのではなく自分たちで考えるよう促し、失敗した場合も答えを出さずその後の行動を見守り、子どもたちの自信につながる行動に移すことができました。</p> <p><対外></p> <p>参加者の65%(13名)が子ども同士で協力してプログラムに取り組むことができ、最初は上手にできなかった火おこしをできるようになり、最初は捕まえられなかった魚を周囲の励ましもあり自分の手で捕まえられるようになり、当初は他の子どもたちとなじめなかった子ども事業が終わる頃には友達になることができ、自信をつけることができました。</p> <p>■事業目的に達しなかった点</p> <p><対内></p> <p>例会当日におけるプログラムのスケジュール、メンバーの役割を事前に伝えることが不足していたために、24%(8名)のメンバーが不参加となり、子どもたちを育成する意識を高め、行動に移す機会を提供できませんでした。</p> <p><対外></p> <p>参加者の35%(7名)が、2日間のプログラムに関して楽しく参加できたものの、プログラムに何度も挑み失敗しながらも、自信をつけてもらうところまでつなげることができませんでした。</p>

様式 1

<p>地域社会への影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>事業終了後、保護者向けに電話にてアンケート行った結果、20名中全ての保護者が天童青年会議所の活動を知ることができ、本事業に子どもを参加させて良かったという反応がありました。本事業を通して、市民から天童青年会議所への理解を深めていただきました。また、事業PRの際に訪れた天童市教育委員会や市内12の小学校から、今後も新しい取り組みを展開する期待の声も寄せられました。</p> <p>参加者の5割以上が子ども同士で協力してプログラムに取り組むことができ、これまで自分の力できなかったこともできるようになり、翌日から家事の手伝いを積極的にやる子、未経験の勉強にも取り組む子が出ており、多くの子どもたちに自信が芽生えました。</p> <p>その上、本事業の翌月に行われた事業のPRで小学校のスポーツ大会を訪れた際も、本事業を通じて天童青年会議所の活動を既に認知いただいている市民もおり、認知度向上につながりました。</p>
<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>2日間を通して、地域のリーダーである天童青年会議メンバーの7割以上が子どもたちを育成する意識を高め、プログラムの中で子どもたちに答えを教えるのではなく自分たちで考えるよう促し、失敗した場合も答えを出さずその後の行動を見守り、子どもたちの自信につながる行動に移すことができました。子どもたちへの教育を通じて、改めてリーダーシップの重要性を見直し、人を育てる意識の向上につなげることができました。</p> <p>また、創立以来、初めて西沼田遺跡公園で新規事業を行った効果として、会場内にある古代住居を再現したもの、100を超えるアトラクション、広大な敷地と、恵まれた環境であることが認知され、今後同会場を利用する事業構想が他メンバーから出ており、新たな地域資源としての価値を発見することにも寄与しました。本事業のような青少年育成事業だけでなく、まちづくり事業にも最適な環境であるという認識をメンバー内で共有することができました。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が期待される長期的な影響を記入)</p> <p>天童青年会議所として、古代を再現した恵まれた地域資源である西沼田遺跡公園を更に活用した事業として、本事業を継続した第2回以降の天童タイムスリップキャンプを構想することが期待されます。実際に、事業後のアンケートでも今後も参加を希望するという意見が半数を超えており、継続事業となる可能性を秘めた価値ある事業となりました。</p> <p>また、毎年行っている青少年育成事業の在り方について、見直す機会になりました。例えば、これまで小学生や中学生を対象に行ってきましたが、今後は高校生、大学生を巻き込んだ事業の構想も期待されます。</p>

	<p>天童市としても、改めて西沼田遺跡公園の認知が広がり、宿泊を含めた更なる展開が期待され、地域資源としての価値向上を実現し、交通の利便性をも確保している同施設について、市内の交流人口拡大にも寄与できることが期待されます。</p> <p>地域資源の新たな開拓についても期待が寄せられます。天童市は市制60周年を迎え、西沼田遺跡公園以外にも、新たな資源を見出す意欲が生まれたことは、本事業の良い影響といえます。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>初めての事業で準備不足やメンバーの役割に関して周知不足があり、改善が必要な場面は多々あったものの、20名の子どもたちが協力し合って普段体験することのできない2日間のプログラムに挑戦し、無事にプログラムをやり遂げ自信をつけることができました。また、メンバーもどうやったら子どもたちが自信をつけられるか自ら考えて意識を高め、実際に行動ができました。本事業を通して、子どもたちは勿論我々大人も自ら考える力を養うことができる場になりました。</p> <p>今後、一般市民向けに参加者を募って事業を実施する場合、参加者に関して当日の直前で変更があった事項については、委員会で早急に内容を協議し、男女の割合に関しても配慮した上で当日の運営に支障がないように対応する必要があります。</p> <p>また、西沼田遺跡公園を今後も事業で使用する場合、まずは天童市教育委員会に許可を取り、並行してNPO法人西沼田サポーターズ・ネットワーク様に確認、了承を取ってから開催を進める必要があります。</p> <p>子どもたちを対象に食にまつわる事業を行う場合、その中で調理を実施する場合は命を頂くありがたさを子どもたちに伝える必要があります。</p>
<p>改善点</p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>まず、例会前日に体調不良により欠席者が発生し、急遽参加者のグループ編成を変更しましたが、委員会で内容を共有しておらず、当日男女のバランスに配慮不足があることが判明し開始時間直前に、再度グループ編成を変更したために、プログラムの開始時間が遅延しました。今後は事前に男女の分配を徹底すべきでした。</p> <p>また、子どもたちに自信をつけてもらう目的で事業を行いました。メンバーがどこまでの役割を担うのか、子どもたちにどこまで任せるのかが不明瞭だったために、結果炊飯、魚、肉の調理をメンバーが行う場面が多く見受けられ、子どもたちが自信を持てる機会が減ってしまいました。</p> <p>さらに、子どもたちに、開会式で事業目的である自分への自信を強く認識してもらうことができなかったために、事業終了後に自信をつけるのに至らな</p>

	<p>かった子どもたちがいました。</p>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <p>未来を生きる子どもたちに向けて、天童青年会議所メンバーが能動的に、新たな青少年育成事業に取り組み、活動する機会を提供しました。</p> <p>また、事業の中で子どもたちへの教育、サポートを通じて、リーダーシップについて改めて意識の向上を実現させました。</p>
<p>添付資料</p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>(事業風景写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p> <p>別途メールで添付いたします。</p>



(AWARDS TOHOKU 2020 申請概要)

青少年育成委員会 委員長 片桐 一樹

<古代人に学ぶ生きる力！>

<天童タイムスリップキャンプ>

公益社団法人天童青年会議所は2019年9月14日土曜日から9月15日(日)の1泊2日の日程で「天童タイムスリップキャンプ」を天童市西沼田遺跡公園にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。この天童タイムスリップキャンプは参加した子どもたちが共に自分に自信をつけること目的として開催されました。参加者の65%(13名)が子ども同士で協力してプログラムに取り組むことができたという結果、目的を達成する事ができました。

<p><天童タイムスリップキャンプ>とは？</p>	<p>写 真 1</p> 
<p>詳細な事業内容 期日:2019年9月14日(土)~9月15日(日) 会場:天童市西沼田遺跡公園 (事業内容) 天童タイムスリップキャンプ~1500年前の暮らしを体験する2日間~のタイトルのもと、天童市の歴史的史跡である西沼田遺跡を舞台に、天童市内の小学4年から6年生の合計20名が参加し、1泊2日古代の生活体験を通して、自分に自信をもち、仲間と協力しながら体験し成長する例会を開催しました。 参加者は、初めは慣れない生活様式と子供同士のコミュニケーションに苦労しながらも、古代の衣服づくり、火おこし、飯盒、魚のつかみ取りなどのワークを協力して行うことを通して、自分の力でできた自信や仲間との絆を深めることができました。 本事業は、天童市教育委員会様の後援のもと、会場の指定管理者であるNPO法人西沼田サポーターズ・ネットワーク様</p>	<p>写 真 2</p> 
	<p>写 真 3</p>

ご協力のもと、開園して初めて遺跡内に宿泊することが許可された貴重な事業となりました。事業当日の前に、参加者とその保護者向けに事前説明会を実施しました。事業の趣旨と安全面の徹底を説明し、事前に事業の理解を深めていただくことができました。

